

SDGs 時代に産官学連携のもとで
都市と郊外での体験型学習モデルの推進を目指す

夏休み自由研究旅行 (大阪・三重)

「稲のお花見と兵糧丸作り」を開催いたしました。

日本みどりのプロジェクト推進協議会の事務局を担う一般社団法人テラプロジェクト (大阪市) は、産・学・官が連携し、健康や植物、食べ物をテーマに新製品の「モノづくり」やイベントなどの「コトづくり」をすすめる活動の一環として都市型と郊外型の体験型学習を提供しています。伊賀 (三重県) では、昨年 (2020 年) の稲刈りに続いて 2 回目の開催で、古民家を拠点に里山での教育と再生活動を通じて、子ども達が、自然から学び、生きる力を養う学習プログラムを提供していきます。

「稲のお花見と兵糧丸作り」

日時 令和 3 年 8 月 1 日 (日) 午後 8 時 30 分～午後 6 時 30 分

場所 三重県伊賀市丸柱 (Nature Inspired School 里山かがく学院)

内容 関西在住 (都市部に住む) 小学生を対象に少人数で夏休み自由研究旅行を実施しました。夏休みは、いろいろな生き物、生命力あふれる植物を観察するのに適した時期です。普段食べているお米がどのように出来るのか、稲の花はどのように咲いているのか、伊賀米の生産地を訪れ体感し、さらに忍者の保存食「兵糧丸」作りを体験しました。「稲のお花見と兵糧丸作り」は、参加費の一部が里山保全に活用される **One Green プロジェクトの一環**です。

参加 11 名 (関西在住の小学生)、2 名 (伊賀の小学生)

ボランティア 5 名 (在阪中高生)、3 名 (在阪大人)、3 名 (丸柱)

講師 一般社団法人テラプロジェクト 理事長 小林昭雄先生 (大阪大学名誉教授)
いがふるさと農協 竹村英明先生

一般社団法人和ハーブ協会「甲賀和ハーブの会」代表 竹中島みちよ先生

コーディネーター 一般社団法人テラプロジェクト 専務理事 峯平慎哉

ひばりが丘こどもアカデミー 辻本あかね

スケジュール 梅田発→伊賀丸柱着→お話し (植育・お米ができるまで) →稲のお花
→お弁当→兵糧丸作り→縁日遊び・スイカ割り→伊賀丸柱発→梅田着

主催 一般社団法人テラプロジェクト

協力 丸柱地域まちづくり協議会、いがふるさと農協、甲賀市くすり学習館

取材 朝日新聞、読売新聞、中日新聞

* 独立行政法人国立青少年教育振興機構「こどもゆめ基金助成活動」

<Nature Inspired School 里山かがく学院とは>

一般社団法人テラプロジェクトが実施する第一世代大学では、小学校の授業を補完する体験学習プログラムを提供しています。大阪（梅田）での都市型学習プログラムに加え、三重（伊賀）での郊外型学習プログラムでは、農村の空き家対策の一環として整備された古民家を拠点とし、地元の人々と世代を超えた思いをつなぐ Nature Inspired School 里山かがく学院として（里山保全）整備することで、さまざまなSDGsプログラムの提供を予定しています。

一般社団法人テラプロジェクトでは、都市と地方が連携し、「植育」から「食育」へをコンセプトに、植物を育て、収穫し、分かち合い、食する事を体験型教室として提供しています。子どもたちがさまざまな課題（SDGs）に対し、アプローチから成果までを体験型学習を通じて学び、世代を超えた人々の思いを受け継ぎながら、環境と地域活性に貢献できる未来を担う人材育成のための教育プログラムを提案しています。

夏休み自由研究旅行「稲のお花見と兵糧丸作り」



大阪・梅田集合



大阪から伊賀へ出発



伊賀市丸柱（Nature Inspired School 里山かがく学院）着



伊賀市農村の空き家利活用（空き家再生等推進事業補助金）事業として整備された里山かがく学院



一般社団法人テラプロジェクト理事長 小林昭雄先生による「植育」のお話し



いがふるさと農協 竹村 英明先生による「お米」のお話し



稲のお花見へ





田んぼのあぜ道も都会の子ども達には新鮮



肉眼では見えにくい小さな稲の花を観察



カエル、蛇、アブ、トンボなどさまざまな生き物に遭遇



中高生ボランティアや地元ボランティアが温かくサポート



お待ちかねのお弁当



和ハーブインストラクター 竹中島みちよ先生による兵糧丸作り。協力：甲賀くすり学習館



薬研（やげん）を使用し、いろいろな植物や食材を粉にします。



兵糧丸は、伊賀、甲賀の忍法伝書「老談集」に書かれた材料を参考に、再現しました。いろいろな植物や食材を薬研（やげん）という道具で粉にして、水を入れてこねて、1 cm程に丸めて蒸して作ります。兵糧丸のレシピは家庭により異なるようですが、高麗人参、桂心、山薬、連肉、もち米、氷砂糖などを用いたレシピは、疲労回復など体が元気になれるような保存食です。

粉にした食材に水を入れこねます。





こねた材料を1cm程にカットし、丸めます。



丸めた材料を蒸して、兵糧丸の完成です。忍者の知恵って凄い！



お楽しみ会でラムネを初めて見た子ども達。開け方が分からず困惑するも、美味しさに笑顔がはじけます。



流しトマトに大興奮。





ゼリーも流れてきたよ。



ヨーヨーすくいやスーパーボールすくいは大人気



スイカ割りに挑戦！ 地元の美味しいスイカに舌鼓。



自然の風を感じ、夏の匂いを感じ、自然の植物や食材から食を学び、地域の人々の温かさに触れ、カエル、蛇、アブ、トンボなどいろいろな生き物の出会いを満喫した自由研究旅行でした。



2021.08.02 朝日新聞デジタルニュース



朝日新聞
DIGITAL

五輪 速報 朝刊 夕刊 連載 特集 ランキング 記者イベント ...

検索 ?

お申し込み ログイン

トップ 社会 経済 政治 国際 スポーツ オピニオン IT・科学 文化・芸能 ライフ 教育・子育て 医療・健康 地域

朝日新聞デジタル > 記事

伊賀で兵糧丸づくり体験 三重

江湖良二 2021年8月2日 10時30分

シェア ツイート B!ブックマーク メール 印刷



薬研を使って兵糧丸の材料をすりつぶす参加者
=2021年8月1日午後1時7分、三重県伊賀市丸柱、江湖良二撮影



稲の穂を観察する子どもたち=2021年8月1日午前11時27分、三重県伊賀市丸柱、江湖良二撮影

三重県 伊賀市 丸柱の古民家で1日、忍者の携帯食・兵糧丸を作ったり、稲の「花」を観察したりする催しがあった。大阪や兵庫、地元 伊賀市 から参加した小学生13人が真夏の里山で「食」を学んだ。

産・学・官が連携し、健康や植物、食べ物をテーマに新製品の「モノづくり」やイベントなどの「コトづくり」をすすめる「一般社団法人テラプロジェクト」（大阪市）の活動の一環。伊賀では、昨年の稲刈りに続いて2回目の開催で、古民家を拠点に 田植え など催しを充実させるという。

兵糧丸づくりでは、4人ほどのグループに分かれた子どもたちが、材料のハスの種やもち米を、薬研（やげん）と呼ばれる器具ですりつぶして下ごしらえ。氷砂糖やシナモンを加えて1センチほどの大きさに丸めた。稲の「お花見」では、古民家近くの田で、70センチほどの高さに育った稲を観察し、おしべなどに触れていた。

大阪府 豊中市 から父親や友達とともに参加した峯平小暖（こはる）さん（9）は「材料が硬くてすりつぶすのが大変だった。いつでも食べられる食べ物を工夫して作った忍者はすごいと思った」と話していた。

た。（江湖良二）

2021.08.02 朝日新聞

19 伊賀 13版S 2021年(令和3年)8月2日(月)

伊賀



伊賀市丸柱の古民家で1日、忍者の携帯食・兵糧丸を作ったり、稲の「花」を観察したりする催しがあった。大阪や兵庫、地元伊賀市から参加した小学生13人が真夏の里山で「食」を学んだ。

産・学・官が連携し、健康や植物、食べ物をテーマに新製品の「モ」

「兵糧丸」作って忍者気分 伊賀

「兵糧丸づくりでは、4人ほどのグループに分かれた子どもたちが、材料のハスの種やもち米を、薬研と呼ばれる器具ですりつぶして下（しら）え。水砂糖やシナモンを加えて1センチほどの大きさに丸めた。稲の「お花見」では、古民家近くの田で、70センチほどの高さに育った稲を観察し、おしべなどに触れていた。

大阪府豊中市から父親や友達とともに参加した峯平小優さん(9)は「材料が硬くてすりつぶすのが大変だった。いつでも食べられる食べ物をつくらせて作った忍者はすごいと思った」と話していた。(新居真由)

株式会社アート・宙
呼吸する家づくり
四日市市北町三丁目3番3号

2021.08.02 中日新聞

077(526)4141 (柳昂介)

情報スクランブル

ももち米をつぶし 兵糧丸作り体験

伊賀市丸柱の古民家で、忍者の携帯食の兵糧丸作りや稲のお花見をする体験イベントが開かれた。大阪や兵庫、地元の小学生13人が参加し、里山で夏の思い出づくりをした。

兵糧丸作りでは、材料のもち米などを「薬研」と呼ばれる道具ですりつぶした後、子どもたちが手でこねて丸めた。写真。古民家近くの田んぼでは、稲の花を観察したり、虫や生き物を捕まえたりして自然に親しんだ。

植物や食べ物、健康をテーマにした産学官連携活動や学びを支援する一般社団法人

岐阜

たらい舟に乗り 船頭気分味わう

大垣市を流れる水門川で、たらい舟の乗船体験が開かれ、親子らが周囲の景色を眺

関ヶ原合戦時に石田三成側の武将の娘おあむが、たらいに乗って落城寸前の大垣城から逃れたとの物語にちなみ、大垣観光協会が開催。長さ一



「テラプロジェクト」(大阪市の主催。同法人が開催する科学教室などで講師を務める辻本あかねさん)兵糧丸宝塚市所有の古民家がある伊賀でのイベントを企画した。辻本さんは「子どもたちが交流したり、自然の体験をしただけでいい場所にした」と話している。(新居真由香)